

令和4年度

北九州市立高等学校入学者選抜要項

北九州市教育委員会

公 印 省 略

北九教校学第260号
令和3年11月15日

各 中 学 校 長
各 特 別 支 援 学 校 長
北九州市立高等学校長

北九州市教育委員会
教育長 田島 裕美

令和4年度北九州市立高等学校の入学者選抜要項について(通知)

このことについて、次のとおり決定いたしましたので、貴校職員に周知徹底のうえ、適正に処理されますよう、特段の配慮をお願いします。

北九州市立高等学校 スクール・ミッション

【目指す学校像】このような学校にします

- 生徒と教師、生徒相互が信頼関係で結ばれ、自己存在感や達成感を実感できる学校
- 明るく活気にあふれ、生徒・教師がいそいそと安心して生活できる学校
- 清潔で美しく、落ち着いた環境で生活できる学校
- 保護者・地域と連携して開かれた学校づくりを推進し、信頼される学校

北九州市立高等学校 スクール・ポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー(卒業までに育成を目指す資質・能力に関する方針)

基本方針

「北九州市に貢献できる人材(創造性や行動力を持ちつつ、市に対して愛着をもった若者)の育成」

【目指す生徒像】卒業までにこのような生徒を育てます

- 知・徳・体の調和のとれた生徒
- 自ら考え、主体的に学ぶ意欲と態度及び問題解決能力を持つ生徒
- 人権尊重の精神に満ち、他人を思いやる心を持った生徒
- 望ましい勤労観、職業観を持ち、社会奉仕の精神に満ちた生徒
- 国際化、情報化等、社会の変化に柔軟に対応できる力を備えた生徒

2 カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

【教育の方針】このような学びを行います

- 基本方針
 - (1) 学ぶ(知る)楽しさ、できる(達成感)喜びを味わわせ、全ての生徒が自信と誇りを持ち、自律(自立)する精神を養う。
 - (2) キャリア教育の視点を持ち、あらゆる教育活動の中で、社会人としての課題解決能力やより良い生活をめざす相互扶助能力(協力・協働)の向上に努める。
 - (3) 「言葉の力」を大切に、対話的活動の充実を目指した「授業改善」に努めると共に、「生きる力」を養い、人間性と社会性を伸ばす「心の教育」の創造に努める。
 - (4) 積極的生徒指導の推進
 - ・ 全教育活動において、「率先垂範」を指導基盤として活力に満ちた学校づくりを目指す。
 - ・ 日常における生徒との人間関係の構築に努め、指導においては是は是、非は非の毅然とした態度で臨む。
 - ・ 生徒指導上の課題に対して、組織が一体となって取り組む。
 - (5) 心を豊かにする教育環境の整備を図り、生活環境の美化・環境保全に努める精神を養う。

3 アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

【求める生徒像】このような生徒を求めています

- 学習や部活動、生徒会活動、学級活動及び学校行事・ボランティア活動等に積極的に取り組んだ生徒
- 本校の目指す生徒像を十分に理解し、入学後も弛まぬ努力を続け、北九州市に貢献できる人材になり得る生徒
- 家族や友人を大切に、人への思いやりをもって何事にも主体的に取り組もうとする生徒
- 本校の生活指導や学習指導に真面目に取り組むとともに、自身の進路実現に向けて自ら考えて行動できる生徒

目 次

令和4年度 北九州市立高等学校入学者選抜要項

(一)	基本方針	1
(二)	入学志願手続等	1
1	志願資格	1
2	入学定員	1
3	通学区	1
4	志願の制限	1
5	志願書類	1
6	志願書類提出期間	2
7	志願書類の受付	2
8	志願先の変更	3
9	身体に障がいがある受検者等への配慮事項	3
(三)	学力検査	3
1	検査教科	3
2	検査期日・時間割等	3
3	検査場等	3
4	検査場責任者	4
(四)	英語リスニングテスト	4
1	実施方法	4
2	実施時間割	4
3	その他	4
(五)	個性重視の特別試験	4
1	期 日	4
2	対 象 者	4
3	検 査 場	4
4	評 価	4
5	そ の 他	4
(六)	選 抜 の 方 法	4
(七)	合 格 者 発 表	5
(八)	推 薦 入 学	5
1	募 集 人 員	5
2	出 願 資 格	5
3	出 願 の 制 限	5
4	推薦適任者の選考	5
5	入学志願手続	5
6	面接及び作文	6
7	選 考	6
8	選考結果の通知	6
9	合 格 者 発 表	6
10	そ の 他	6

(九)	帰国生徒等特例措置	6
1	目 的	6
2	一般学力検査の特例措置	6
3	出願期限の弾力化	7
(十)	補 充 募 集	7
1	実施について	7
2	出 願 資 格	7
3	出 願 期 間	7
4	志 願 書 類	7
5	面接及び作文	8
6	選 抜 の 方 法	8
7	合 格 者 発 表	8
(十一)	そ の 他	8

○北九州市立高等学校入学者選抜学力検査における 教科別得点及び総合得点の開示について	9
---	---

様式1 A～3 B (志願書類関係), 志望学科変更届	10～15
様式5 (調査書)	16～17
Ⅰ 調査書の記入について	18～20
Ⅱ 調査書の記入不備等の場合について	20
Ⅲ 過年度中学校卒業者に係る調査書の記入上の留意点について	20
様式6 A～6 B (評定一覧表, 評定分布表)	21～22
Ⅰ 評定一覧表(様式6 A)作成上の留意点について	23
Ⅱ 評定分布表(様式6 B)作成上の留意点について	23
Ⅲ 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取扱いについて	23～24
Ⅳ 過年度中学校卒業者に係る評定分布表の取扱いについて	24
様式推1 A～1 B (推薦志願書類)	25～26
様式補1 A～1 B (補充募集志願書類)	27～28
様式7 A (特別措置申請書)	29
様式7 B (英語リスニングテスト特別措置申請書)	30
別紙様式1 (帰国生徒等特例措置適用申請書)	31
別紙様式2 (帰国生徒等特例措置適用証明書)	32
北九州市立高等学校入学者選抜学力検査個人情報開示請求書(別紙様式)	33

令和4年度 北九州市立高等学校入学者選抜要項

(一) 基本方針

- 1 北九州市立高等学校（以下「本高等学校」という。）入学者の選抜は、本高等学校に入学を希望する者について、本高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を公正に判定することを基本として行うものとする。
- 2 本高等学校入学者の選抜に当たっては、中学校教育と本高等学校教育の相互の関係を十分尊重し、特に、中学校教育が正常に運営されるよう配慮するものとする。
- 3 本高等学校入学者の選抜については、志願者の在学又は出身中学校等の校長（以下「中学校長」という。）から提出される調査書を重視し、より公正を期するため、併せて学力検査を行うものとする。
- 4 全学科で面接を行うものとする。
- 5 全学科で推薦入学者選抜を実施する。
- 6 帰国生徒等については、一般学力検査において特例措置を講じるものとする。

(二) 入学志願手続等

1 志願資格

- (1) 中学校（義務教育学校及び特別支援学校中学部を含む。）を卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
- (3) 就学義務猶予免除者等で中学校卒業程度認定試験に全科目合格した者
- (4) 外国において学校教育における9年の課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
- (5) 青年学校本科第1学年以上を修了した者など、文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第58号）
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
- (7) その他、本高等学校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者及び認定を受けようとする者。ただし、この認定に当たっては、本高等学校で適宜試験を実施するものとする。

2 入学定員

入学定員は、「北九州市立高等学校学則」の規定するところによる。

※ 入学定員 200名（全日制）

普通科	80名
情報ビジネス科	120名
計	200名

3 通学区域

本高等学校の通学区域は、「北九州市立高等学校学則」の規定するところにより、福岡県の区域とする。

4 志願の制限

入学者は、同一選抜日程の他の福岡県公立高等学校と重複して出願できないものとする。

5 志願書類

- (1) 中学校長を経て本高等学校長へ提出する書類

ア 入学願書

入学志願者は、入学願書（様式1A）に入学選考料2,100円（現金）を添えて提出する。なお、領収書は本高等学校で発行する。

また、大規模災害（令和3年8月11日からの大雨による災害、令和2年7月豪雨災害、令和元年台風第19号による災害、平成30年7月豪雨災害、平成29年7月九州北部豪雨、平成28年熊本地震による災害及び東日本大震災をいう。以下同じ。）の被災者は、入学選

考料が免除されるので、必要な書類や手続について、本高等学校に問い合わせること。

イ その他

(ア) 住民票の写し

調査書（様式5）の「A 学籍の記録」欄の「居住証明」のない者及び過年度中学校卒業者は、住民票の写し（本人、保護者及び世帯主との続柄が記載され、原則として3か月以内に交付されたもの。なお、マイナンバーの記載は不要。）を提出すること。

(イ) 県外からの本高等学校入学志願手続及び志願書類等

転居等の理由により、県外から本高等学校を志願する者は、住民票の写しとともに、中学校長の証明を付した県外からの北九州市立高等学校入学申請書（様式2A）を提出すること。

なお、必要に応じて、上記の書類のほか、県内に居住する身元引受人の書類（様式2B）を提出すること。

(2) 中学校（志願者の在学又は出身中学校等をいう。以下同じ。）において作成し、本高等学校長へ提出する書類

ア 調査書

中学校においては、各志願者の調査書（様式5）の作成に当たって、校長を委員長とする「調査書作成委員会」を設け、中学校生徒指導要録に準拠して厳正に作成し、中学校長が提出するものとする。

イ 評定一覧表及び評定分布表

中学校においては、卒業予定者全員について評定一覧表（様式6A）及び評定分布表（様式6B）を作成し、次の表の区分に従い、本高等学校及び北九州市教育委員会に提出するものとする。また、過年度中学校卒業者に係る評定一覧表及び評定分布表の作成については、23頁から24頁の「Ⅲ 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取扱いについて」及び24頁の「Ⅳ 過年度中学校卒業者に係る評定分布表の取扱いについて」によるものとする。

なお、他県からの志願者等で、評定一覧表及び評定分布表を様式6A及び様式6Bによって作成することが著しく困難である場合には、事前に本高等学校と協議するものとする。

評定一覧表及び評定分布表について

提出先	「氏名」欄の記入	提出期日	提出部数
北九州市立高等学校	本高等学校を志願する者の氏名を記入したもの	入学願書提出のとき	1部
北九州市教育委員会 (学校教育部 学校経営・教育指導課)	卒業予定者全員の氏名を記入したもの	2月21日（月）正午まで ただし、市外からの志願者については 2月28日（月）正午まで	1部

ウ 入学志願者名簿【一般入試】

※ 市外からの提出については、郵送可とする。

北九州市立高等学校（〒804-0062 北九州市戸畑区浅生一丁目10番1号）

北九州市教育委員会（〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号）

6 志願書類提出期間

志願書類の本高等学校への提出期間は、令和4年2月14日（月）から2月21日（月）の正午までとする。ただし、5の(1)のイの(イ)に示す県外からの本高等学校を志願する者の志願書類の提出期間は、令和4年2月3日（木）から2月28日（月）の正午までとする。

7 志願書類の受付

本高等学校長は、中学校長から提出された志願書類を精査確認の上、受け付けること。

なお、本高等学校長は、必要に応じ出願資格を確認できる書類を求めることができるものとする。

また、受検票には受検番号を記入し、公印を押印して、中学校長を経て受検者に交付するものとする。

8 志願先の変更

- (1) 志願書類提出後、所属学区内において志願高等学校の変更を希望する者は、令和4年2月22日（火）から2月28日（月）の正午までの間に、1回に限り他校へ志願先を変更することができるものとする。
- (2) 前項の志願先の変更をしようとする者について、中学校長は、志願変更届（様式3A）を本高等学校長に提出し、志願変更証明書（様式3B）と、さきに提出した調査書等を受領し、それらを(1)に示した期間内に志願変更先高等学校長に提出するものとする。
なお、本高等学校に志願先を変更する者は、あらたに入学選考料2,100円を現金で納付しなければならない。また、本高等学校から他校へ志願先を変更する者に対しては入学選考料の返却は行わない。
- (3) 志願書類提出後、志望学科の変更を希望する者は、令和4年2月22日（火）から2月28日（月）の正午までの間に、1回に限り変更することができる。その際、出身中学校長は「志望学科変更届」（15頁）を本高等学校長に提出すること。

9 身体に障がいがある受検者等への配慮事項

中学校長は、身体の障がいや発達障がい等のため、通常の方法により受検することが困難と認められる者が志願する場合には、特別措置申請書（様式7A）を令和3年12月10日（金）までに本高等学校長に提出すること。ただし、提出後に当該志願者が志願校を変更する場合には、ただちに本高等学校長に申し出ること。申し出を受けた本高等学校長は、志願変更先の高等学校長に当該申請書を速やかに送付すること。

特別措置申請書を提出した者のうち、通常の方法では、受検が困難と認められる者については、障がい等の種類や程度、中学校における配慮事項等を勘案し、あらかじめ特別受検室を設けるなど検査方法、検査場等について適切な措置を講じるものとする。

なお、聴覚障がいのある者が、英語リスニングテストの特別措置を受けようとする場合は（四）の3により申し出ること。

（三）学 力 検 査

1 検査教科

国語、数学、社会、理科及び外国語（英語）について福岡県立高等学校と同一の問題で行う。

なお、外国語（英語）については、（四）によりリスニングテストを行うものとする。

各教科の配点は、60点とする。

2 検査期日・時間割等

- 令和4年3月8日（火）

検査時間割

教科	入室と注意	検査時間	休憩
国語	9:30～9:40	9:40～10:30	10:30～10:50
数学	10:50～10:55	10:55～11:45	11:45～12:05
社会	12:05～12:10	12:10～13:00	13:00～13:45
理科	13:45～13:50	13:50～14:40	14:40～15:00
外国語（英語）	15:00～15:05	15:05～16:00	

細部の諸注意については、本高等学校において示すものとする。

なお、学力検査当日、大雪による交通途絶等学力検査が所定の期日に実施できない場合又は受検者が新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの罹患その他の真にやむを得ない理由により学力検査を受検できない場合は、後日追検査を行うことができる。

3 検査場等

- (1) 検査場

検査場は、本高等学校とする。

(2) 採 点

採点は、本高等学校において行うものとする。

4 検査場責任者

本高等学校長を検査場責任者とする。

(四) 英語リスニングテスト

1 実施方法

録音音源により、校内放送設備を用いて一斉に行う。

2 実施時間割

外国語（英語）学力検査の時間割を次の表のとおりとする。

外国語（英語）学力検査時間割

内 容		時 間		合 図
第5時限 外国語 (英語)	入室と注意	/	15:00	予鈴（学校のブザー）
	リスニングテスト問題及び筆記 テスト問題配布		15:05	
	リスニングテスト	開始時刻	15:05	学校のブザー（そのあと すぐ放送を流す）
		終了時刻	15:20	放送（リスニングテスト 終了後、引き続き筆記 テストを実施）
	筆記テスト	開始時刻		
		終了時刻	16:00	学校のブザー

3 その他

聴覚障がいのある者が受検する場合には、中学校長は英語リスニングテスト特別措置申請書（様式7B）を令和4年1月11日（火）までに、本高等学校長に提出すること。

なお、提出後に当該志願者が志願校を変更する場合には、（二）の9に準ずるものとする。

(五) 個性重視の特別試験

1 期 日

令和4年3月9日（水）（8時40分点呼）

2 対 象 者

普通科、情報ビジネス科の志願者全員に面接を実施する。

ただし、推薦入学者選抜合格内定者は除く。

3 検 査 場

検査場は、本高等学校とする。

4 評 価

この試験では、当該学科の特色にふさわしい受検者の能力・適性、興味・関心等の多様な個性を評価するものとする。

5 その他

その他必要な事項については、本高等学校長が定める。

(六) 選 抜 の 方 法

1 調査書の「各教科の学習の記録」の第3学年における各教科の評定の数値の合計によって序列を定めるとともに、学力検査の総点によって序列を定める。

- 2 調査書及び学力検査等の序列がともに本高等学校長が定める一定数（入学定員以内）に入っている者をA群とし、その他の者をB群とする。
- 3 A群については、調査書その他の資料に特に支障がなければ、入学予定者とする。
- 4 A群の者のうち入学予定者とならなかった者及びB群の者については、調査書の「各教科の学習の記録」の第3学年における各教科の評定の数値以外の記載事項を重視しながら、上記1により定める調査書の序列、学力検査の序列及びその他の資料をも精査し、総合的に選考して、上記3の入学予定者と併せて、可否を決定する。
- 5 「個性重視の特別試験」は、上記4の総合的な選考に当たり、その結果を活用するものとする。
- 6 過年度中学校卒業者については、調査書の内容が中学校卒業時のものに固定されているところから、本人の不利にならないよう考慮するものとする。
- 7 調査書の「出欠の記録」については、修学上はなほだしい支障のない限り、等差をつける資料としない。

(七) 合格者発表

令和4年3月16日（水）午前9時、本高等学校及び本高等学校ホームページで行うものとする。

(八) 推薦入学

1 募集人員

募 集 学 科	定 員	募集人員
普 通 科	80名	32名程度
情報ビジネス科	120名	54名程度
合 計	200名	86名程度

2 出願資格

推薦入学を志願できる者は、次の条件を満たし、中学校長の推薦を受けた者とする。

- (1) 県内に居住又は居住予定で、令和4年3月中学校卒業見込みの者（義務教育学校又は特別支援学校中学部を卒業見込みの者及び中等教育学校の前期課程、外国の学校教育における9年の課程又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者を含む。）
ただし、県外に居住する者で、本高等学校長が体育、芸術等の技能が優秀であると認めるものは志願することができる。
- (2) 志願する動機・理由が明白、適切であること。
- (3) 志願する学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (4) 合格した場合、入学する意志が確実であると認められる者であること。
- (5) 志願する学科の教育を受けるにふさわしい学業成績であること。
- (6) 体育、芸術等の技能が優秀な生徒の推薦の詳細については、本高等学校長が定める。

3 出願の制限

出願は1校に限るものとする。他校の特色化選抜や推薦入学との併願はできないものとする。

4 推薦適任者の選考

推薦に当たっては、中学校ごとに校長を委員長とする推薦委員会を設置して、厳正、公平に選考し、適切な推薦を行うものとする。

5 入学志願手続

- (1) 志 願 書 類
 - ア 推薦入学願書 （様式推1A・1B）
 - イ 志願理由書 （本高等学校長が定める様式）
 - ウ 推薦書 （本高等学校長が定める様式）
 - エ 調査書 （様式5）

- オ 評定一覧表 (様式6A)
- カ 評定分布表 (様式6B)
- キ 入学選考料 2,100円(現金)
- ク 推薦入学志願者名簿

なお、大規模災害の被災者については、(二)の5の(1)のアによること。

(2) 出願手続

中学校長は、令和4年1月31日(月)から2月3日(木)の正午までの間に、(1)の志願書類を本高等学校長に提出すること。

6 面接及び作文

推薦入学志願者については、志願者全員に面接及び作文を行うものとする。

(1) 期日 令和4年2月7日(月)

(2) 場所 本高等学校

7 選考

本高等学校長は、中学校長から提出された書類及び作文、面接の結果を資料として、総合的に選考して、合格者を内定するものとする。

8 選考結果の通知

選考の結果については、令和4年2月14日(月)午前9時に、本高等学校長から、推薦入学選考結果通知書を中学校長に交付する。

9 合格者発表

令和4年3月16日(水)午前9時に、本高等学校及び本高等学校ホームページで行う。(一般入学者選抜の合格者発表と同時に進行。)

10 その他

推薦入学者選抜で合格内定とならなかった者は、再度、一般入学者選抜に出願することができる。この場合は、改めて入学願書等(入学選考料は不要。)を提出しなければならない。

(九) 帰国生徒等特例措置

1 目的

この措置は、令和4年度本高等学校入学者選抜に当たり、帰国生徒等について、必要な特例措置を講じることにより、その適切な受入れを図ることを目的とする。

2 一般学力検査の特例措置

(1) 対象者

ア 中国等帰国孤児子女(以下帰国孤児子女という)又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成27年1月1日以降に帰国若しくは入国した者

イ 帰国孤児子女以外の帰国生徒で、現地校に引き続き3年以上在学し、かつ、原則として、令和3年1月1日以降に帰国した者

(2) 特例措置の内容

ア 学力検査時間の延長

学力検査時間を「国語」は25分、他の教科は15分延長し、その時間割は次のとおりとする。

検 査 時 間 割

教 科	入室と注意	検 査 時 間	休 憩
国 語	8 : 45～ 8 : 55	8 : 55～10 : 10	10 : 10～10 : 25
数 学	10 : 25～10 : 30	10 : 30～11 : 35	11 : 35～11 : 50
社 会	11 : 50～11 : 55	11 : 55～13 : 00	13 : 00～13 : 35
理 科	13 : 35～13 : 40	13 : 40～14 : 45	14 : 45～15 : 00
外国語（英語）	15 : 00～15 : 05	15 : 05～16 : 15	

※ 外国語（英語）学力検査における検査時間の延長は、筆記テストについて行う。また、外国語（英語）学力検査の時間割は、筆記テストの終了時刻を除き、令和4年度北九州市立高等学校入学者選抜要項の（四）の2に準じる。

イ 学力検査問題の漢字の振り仮名

学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意するものとする。

ウ 検 査 場

学力検査は、本高等学校において帰国生徒等特例学力検査室を設けて行う。

(3) 申 請 手 続

ア この特例措置の適用を受けようとする者は、入学願書等提出の際、帰国生徒等特例措置適用申請書（別紙様式1）を本高等学校長に提出するものとする。

イ 本高等学校長は、上記申請書の提出があった場合は、その内容を審査し、当該申請者に対し、帰国生徒等特例措置適用証明書（別紙様式2）を交付するものとする。

ウ この特例措置の適用を受ける者は、学力検査当日、上記帰国生徒等特例措置適用証明書を検査場に携行しなければならない。

3 出願期限の弾力化

本高等学校長は、帰国後直ちに入学志願手続きを行おうとする者が、やむを得ない理由により出願期限に遅れたものと認められる場合には、北九州市教育委員会学校教育部学校経営・教育指導課長と協議の上、当該出願を受け付けることができるものとする。

（十）補 充 募 集

1 実施について

(1) 合格者発表時に、合格者の人数が10人以上入学定員を下回る学科においては、補充募集を行うものとする。

(2) 実施については、令和4年3月16日（水）に北九州市教育委員会が、福岡県教育委員会を通じて公表するものとする。

2 出 願 資 格

(1) 令和4年度の福岡県立高等学校入学者選抜の学力検査において、定められた検査教科を受検して不合格となった者。ただし、本高等学校入学者選抜の学力検査で不合格となった者の再受検は認めない。

(2) 学力検査の期日及び内容が本高等学校入学者選抜と同一の福岡県立及び県内市立高等学校の入学者選抜で不合格となった者。

3 出 願 期 間

令和4年3月17日（木）から3月22日（火）の正午までとする。

4 志 願 書 類

(1) 中学校長を経て本高等学校長へ提出する書類

ア 補充募集入学願書 (様式補1A・1B)

イ 入学選考料 2,100円（現金）

なお、大規模災害の被災者については、(二)の5の(1)のアによること。

ウ その他（該当者のみ）

(ア) 県外からの北九州市立高等学校入学申請書（様式2A）

(イ) 県外からの北九州市立高等学校身元引受書（様式2B）

エ 入学志願者名簿【補充募集】

- (2) 初回受検高等学校長から本高等学校長へ提出する書類
ア 調査書（住民票の写しを含む。）の写し
イ 学力検査の成績に関する証明書

5 面接及び作文

- (1) 補充募集においては、志願者全員に面接及び作文を行うものとする。
(2) 面接及び作文期日 令和4年3月23日（水）
(3) 場所 本高等学校

6 選抜の方法

学力検査、面接及び作文の結果並びに調査書を総合して選抜するものとする。
なお、学力検査については、初回受検校での結果を利用するものとする。

7 合格者発表

令和4年3月25日（金）午前9時に、本高等学校で行うものとする。

(十一) そ の 他

- 1 この要項に定めるもののほか詳細については、本高等学校長に通知するものとする。
- 2 県外高等学校入学志願申請書、入学願書、受検票等出願に必要な用紙は、本高等学校において配布するものとする。
- 3 学力検査の教科別得点及び総合得点の開示については、9頁の「北九州市立高等学校入学者選抜学力検査における教科別得点及び総合得点の開示について」によるものとする。
- 4 不正の事実が判明したときは、合格又は入学許可の取り消し等の措置を講ずることがある。
- 5 (三)の2による追検査の受検を希望する者は、令和4年3月8日（火）の正午までに中学校長を通じて本高等学校長にその旨申し出るものとする。
- 6 新型コロナウイルス感染症の罹患等により、追検査の受検を認められた者のうち、追検査当日においてもなお受検できない特段の理由があると認められる場合は、別に定めるところにより、追選抜を受検することができる。

北九州市立高等学校入学者選抜学力検査における教科別得点及び総合得点の開示について

1 開示の対象となる個人情報

開示請求者（開示請求者が法定代理人である場合は、その本人）の令和4年度入学者選抜学力検査の教科別得点及び総合得点

2 開示場所

北九州市立高等学校
北九州市戸畑区浅生一丁目10番1号
電話番号（093）881－5440

3 開示期間及び開示時間

(1) 開示期間

ア 県内公立高等学校（全日制課程）において補充募集が行われない場合
（合格者発表日 令和4年3月16日（水））

令和4年3月17日（木）から令和4年4月18日（月）まで

イ 県内公立高等学校（全日制課程）において補充募集が行われる場合
（合格者発表日 令和4年3月25日（金））

令和4年3月28日（月）から令和4年4月28日（木）まで

※ 土曜、日曜及び祝日を除く。

(2) 開示時間

午前9時から午後5時まで（正午から午後1時までの時間を除く。）

4 開示の手続

(1) 開示請求者（本人又は法定代理人）は、北九州市立高等学校に「学力検査個人情報開示請求書」（別紙様式）を提出する。

(2) 北九州市立高等学校は、「学力検査個人情報開示請求書」の内容及び請求者が本人又は法定代理人であることを確認する。

(3) 北九州市立高等学校は、本人又は法定代理人に対し、「入学者選抜学力検査結果一覧表」を閲覧させることにより開示とする（コピー不可）。

5 本人等の確認方法

(1) 受検者本人が請求する場合

次の書類のいずれかの提示を必要とする。

- 1 受検票及び生徒証明書等
- 2 健康保険の被保険者証又は旅券
- 3 その他本人確認ができる書類

(2) 法定代理人が請求する場合

受検者本人との関係を証明する書類及び法定代理人本人であることを証明する書類の両方を必要とする。

1 受検者本人との関係を証明する書類

※ 戸籍個人事項証明書／戸籍抄本，その他関係を証明する書類

2 法定代理人本人であることを証明する書類

※ 運転免許証，健康保険の被保険者証，旅券，その他本人確認ができる書類

6 その他

本件以外の保有個人情報の開示請求については、北九州市個人情報保護条例及び同条例施行規則の定めるところによる。

受 検 票

学 科	科 <small>第一志望の学科を記入すること</small>
※ 受検番号	第 号
ふりがな	
氏 名	
生年月日	平成 年 月 日生
出身校名	学校
<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> 北九州市立高等学校長 公 印	

(注) 1. ※印欄は高等学校で記入する。
2. この受検票の交付をもって、入学選考料の領収証交付に代える。

(様式 1 A)

受付年月日	受付番号	受付者印

入 学 願 書		令和 4 年 月 日
北九州市立高等学校長 殿		
本人氏名 _____		
保護者氏名 _____		
貴校に入学を志願します。		
区 分	本 人	保 護 者
ふりがな		
氏 名		
生 年 月 日	平 成 年 月 日 生	
現 住 所	(千 - -)	(千 - -)
出身校名	学校	本人との関係
志 望 学 科	第 1 志望	第 2 志望
	科	
		備 考
第 2 志望を志望しない場合は斜線を引くこと。		

(切 取 り)

受 検 者 心 得

- 1 この受検票は検査当日必ず携帯し、受検中は監督者に見えるように常に机の上に置いておくこと。
- 2 受検に当たって必要なもの
受検票・鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム・鉛筆削り
- 3 携帯電話，スマートフォン，腕時計型端末，その他学力検査の公正さを損なうおそれのあるものの検査室への持ち込みは認めない。

- 4 検査期日
令和 4 年 3 月 8 日 (火) 学力検査

5 検査時間割

	教 科	検 査 時 間
1	国 語	9 : 40 ~ 10 : 30
2	数 学	10 : 55 ~ 11 : 45
3	社 会	12 : 10 ~ 13 : 00
4	理 科	13 : 50 ~ 14 : 40
5	外国語(英語)	15 : 05 ~ 16 : 00

- 6 面接期日
令和 4 年 3 月 9 日 (水)
午前 8 時 40 分点呼

(切 取 り)

(様式2A)

県外からの北九州市立高等学校入学申請書

令和4年 月 日

北九州市教育委員会教育長 殿

本人氏名 _____

保護者氏名 _____

下記のとおり申請します。

本人	現住所		保護者	現住所	
	出身学校名	()		氏名	
	氏名			氏名	
	生年月日	昭和 年 月 日生 平成			

志願先高等学校

北九州市立高等学校

理由（具体的に記述すること。）

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和4年 月 日

学校長 印

- (注) 1 この書類に福岡県内に居住する身元引受人の書類（様式2B）を添付すること。
2 この申請書は、他の必要書類とともに北九州市立高等学校長に提出すること。
3 推薦入試においてはこの様式は必要ありません。

(様式2B)

県外からの北九州市立高等学校入学のための
身元引受書

令和4年 月 日

北九州市教育委員会教育長 殿

現住所

身元引受人氏名

志願者との関係

志願者 が入学の上は、その身元を引き受け、
私の住居から通学するようにします。

(注) 身元引受人の住民票の写しを添付すること。

(様式3A)

令和4年 月 日

北九州市立高等学校長 殿

学校長 印

志 願 変 更 届

さきに貴校を志願していた本校生徒（卒業生）は
（受検番号第 号）
立 高等学校に志願を変更しますので、提出書類の還

付をお願いします。

..... (切取り)

(様式3B)

令和4年 月 日

立 高等学校長 殿

北九州市立高等学校長 印

志 願 変 更 証 明 書

下記の者は令和4年 月 日本校に志願変更届を提出したことを証明
します。

記

1 出身学校名

2 志願者氏名

3 受検番号 第 号

令和 4 年 月 日

北九州市立高等学校長 殿

中学校名 _____

学校長名 _____ 印

志望学科変更届

先に北九州市立高等学校を志願していた本校生徒について、下記のように志望学科を変更しますので、お届けします。

記

- 1 受検番号 _____
- 2 生徒氏名 _____
- 3 変更内容

	変 更 前	変 更 後
第 1 志望	科	科
第 2 志望	科	科

※ 記入欄には、「普通」，「情報ビジネス」のいずれかを記入してください。

調 査 書

(様式5)

※受検番号		※志願変更後の受検番号		
現 住 所	※居住証明 <input type="checkbox"/> 志願者は2年以上本校に在学し、上記住所に2年以上引き続き住んでいる。 保護者とともに居住している。			
A 学籍の記録	性別	昭和 平成	年 月 日	年 月 日
B 各教科の学習の記録	音楽	美術	技術・家庭	外国語 (英語)
C 総合的な学習の時間の記録	理科	保健体育	卒業見込み・卒業	卒業見込み・卒業
D 行動の記録	数学	社会	3年 評定数値の 合計	3年 評定数値の 合計
E 出欠の記録	国語	保健体育	芸術	外国語 (英語)
F 健康の記録	1年	2年	3年	3年 評定数値の 合計
G 特別活動の記録	知識・技能	思考・ 判断・表現	芸術	外国語 (英語)
H 総合所見	主体的に学習に 取り組む態度	基礎的・基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律
I 欠席日数	1年	2年	3年	責任感
J 準備	1年	2年	3年	創意工夫
K 疾病等	1年	2年	3年	思いやり・協力
L 備考	1年	2年	3年	生命尊重・自然愛護
M 備考	1年	2年	3年	勤労・奉仕
N 備考	1年	2年	3年	公正・公平
O 備考	1年	2年	3年	公共心・公德心

この調査書は本校の調査書作成委員会で厳正に作成したもので事実と相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

所在地

公印

学 校 長

所在地
学校名

(様式5)		調査調書		所在地 学校名		3年 組	
志願校	高等学校	学年	1年 2年 3年	状況	1年 2年 3年	評定	1年 2年 3年
※受番	※志願変更後の受番	性別		観	1年 2年 3年		
A	学籍の記録	ふりがな		観点別	1年 2年 3年		
		氏名		学点	1年 2年 3年		
		生年月日	昭和 平成	習	1年 2年 3年		
		現住所		点	1年 2年 3年		
		卒業等	昭和 平成 令和		1年 2年 3年		
		卒業日数			1年 2年 3年		
		欠席日数			1年 2年 3年		
B	出入の記録	備考	卒業見込み・卒業		1年 2年 3年		
		1年			1年 2年 3年		
		2年			1年 2年 3年		
		3年			1年 2年 3年		
C	健康の記録	備考	異常なし		1年 2年 3年		
		疾病等			1年 2年 3年		
※	摘要				1年 2年 3年		
				D 各教科の学習の記録			
教科	観点別学点	状況	1年 2年 3年	1年 2年 3年	1年 2年 3年	評定	1年 2年 3年
国語	国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能 社会的な思考・判断・表現 社会的な思考・判断・表現 資料活用の技能 社会的な思考・判断・表現 数学への関心・意欲・態度 数学的な見方や考え方 数学的な技能 数量や図形などについての知識・理解 自然現象への関心・意欲・態度 科学的な思考・表現 観察・実験の技能 自然現象についての知識・理解 音楽への関心・意欲・態度 音楽表現の創意工夫 音楽表現の技能 鑑賞の能力 美術への関心・意欲・態度 発想や構想の能力 創造的な技能 鑑賞の能力 運動や健康・安全への関心・意欲・態度 運動や健康・安全についての思考・判断 運動の技能 運動や健康・安全についての知識・理解 生活や技術への関心・意欲・態度 生活を工夫し創造する能力 生活の技能 生活や技術についての知識・理解 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 外国語表現の能力 外国語理解の能力 言語や文化についての知識・理解						
社会							
数学							
理科							
音楽							
美術							
体育							
家庭							
外国語(英語)							
		3年評定数値の合計					
				E 総合所見			
				F 居住証明			
				G 行動の記録			
				H 総合所見			
				I 居住証明			
				J 学年活動			
				K 生徒会活動			
				L 学校行事			
				M 1年			
				2年			
				3年			
				第3学年の状況			
				基本的な生活習慣			
				健康・体力の向上			
				自主・自律			
				責任感			
				創意工夫			
				思いやり・協力			
				生活自立・自然環境			
				勤労・奉仕			
				公正・公平			
				公共心・公德心			
				志願者は2年以上本校に在学し、 市区町村番地番号 に2年以上引き続いて保護者とともに居住している。			
				この調査書は本校の調査書作成委員会で作成したもので事実と相違ないことを証明する。 令和 年 月 日			
				学校長		公印	

I 調査書の記入について

1 様式

作成する様式については、以下のとおりとする。

(1) 令和4年3月卒業見込みの者及び平成28年3月以前の卒業者

調査書（様式5）をA4判で作成すること。

(2) 平成29年3月から令和3年3月の卒業者

調査書（様式5）【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】をA3判で作成すること。

2 記入要領

以下の要領により記入すること。

なお、調査書（様式5）【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】については、調査書（様式5）の対応する欄にそれぞれ読み替えて記入すること。

A 学籍の記録

(1) 志願者欄は、志願者の氏名、ふりがな、性別、生年月日、卒業等、現住所を記入する。

(2) 教育的配慮が必要な外国籍等の生徒の記入方法については、ふりがな、氏名ともに本名を記入し、上段に括弧書きで通称を記入する。

ふりがな	(つうしょう) ほんみょう
氏 名	(通 称) 本 名

(3) 卒業等欄は、卒業見込み又は卒業の該当するものを○で囲み、その年月日を記入する。

(4) 「居住証明」については、該当する者について☑する。

B 各教科の学習の記録

(1) 評定欄は、第1学年及び第2学年分については、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）から転記する。第3学年分については、指導要録の記入要領に準じて、「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1として記入する。

(2) 観点別学習状況欄は、指導要録の記入要領に準じて観点ごとに「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとして記入する。

なお、【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】については、第1学年欄及び第2学年欄を空欄とすること。

C 総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の記録については、指導要録の記入要領に準じて、この時間に行った学習活動及び指導の目標や内容に基づいて定めた評価の観点を踏まえて特記すべき事項を記入する。

D 行動の記録

第3学年の行動の記録について、指導要録の記入要領に準じて各項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

E 出欠の記録

- (1) 欠席日数欄は、各学年ごとの欠席日数を記入する。ただし、第3学年に在学中の者は、令和3年12月末日現在で記入する。
- (2) 欠席日数欄は、欠席がない場合は^{ゼロ}0と記入する。
- (3) 備考欄の記入は次のとおりとする。
 - ア 欠席日数が0日から6日までの場合は空欄とする。
 - イ 欠席日数が7日から49日までの場合はその中に連続7日以上のものであれば欠席の主な理由を記入し、なければ備考欄に斜線を引く。
 - ウ 欠席日数が50日以上の場合は欠席の主な理由を記入する。

F 健康の記録

- (1) 修学上留意すべき疾病及び修学上配慮すべき事項のない者については、異常なしにし、他の欄の記入を要しない。

なお、【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】については、上記の場合、異常なしを○で囲み、他の欄の記入を要しない。
- (2) 疾病等の欄は、修学上留意すべき疾病がある者及び修学上配慮すべき事項がある者について記入する。
- (3) 備考欄は、健康に関する指導上、特に必要があれば記入する。

G 特別活動の記録

特別活動の記録については、指導要録の記入要領に準じて、十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

H 総合所見

総合所見については、以下の事項等を総合的に記入する。

- (1) 各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見

なお、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各必修教科に関して、それぞれの学習成果が十分選抜の資料として生かされるよう、指導要録の学習の記録の観点等を参考として、特記すべき事項を記入すること。
- (2) 特別活動における生徒の活動に関する主な事実及び所見
- (3) 学習に対する努力や学習態度等の日常の学習状況

- (4) 進路に対する意識
- (5) 学校内外におけるスポーツ活動・文化活動・社会活動・ボランティア活動等
- (6) 趣味・特技
- (7) その他進学上参考となる事項等

その他

- (1) 証明年月日，学校名を記入し，公印を押印する。
- (2) 義務教育学校にあつては，様式中の1年，2年，3年をそれぞれ，7年，8年，9年と読み替えて記入する。
- (3) ※印の欄は，本高等学校で記入する。

II 調査書の記入不備等の場合について

調査書は，入学者選抜のために必要かつ重要な資料であるので，本高等学校長が不備であると判断したものについては，受け付けることができない。

III 過年度中学校卒業者に係る調査書の記入上の留意点について

過年度中学校卒業者の調査書の記入に当たっては，以下の点に留意すること。

- 1 「平成28年3月以前の卒業者に係る調査書」について
「B 各教科の学習の記録」欄から「H 総合所見」欄までは空欄になること。
- 2 【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】の「志願校」欄については，記入を要しないこと。
- 3 【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】の「D 各教科の学習の記録」について
 「評定（第3学年）」欄
 卒業見込みで作成した評定一覧表又は学級評定一覧表の評定値を転記すること。
 ※ 評定一覧表の作成については，23ページから24ページの「III 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取扱いについて」に留意すること。
- 4 「A 学籍の記録」欄の「居住証明」及び【平成29年3月から令和3年3月の卒業生用】の
「I 居住証明」欄について
 過年度中学校卒業者については，証明はできないこと。（この欄は，空欄とすること。）
 なお，この場合，住民票の写し（本人，保護者及び世帯主との続柄が記載され，原則として3か月以内に交付されたもの。なお，マイナンバーの記載は不要。）を添付すること。

(様式6A)

令和
平成

年度卒業(見込み)第3学年 評定一覧表

〔 枚中の
第 枚 〕

学校長 印

区分 番号	氏名	評 定										備考	
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語 (英語)	段階値の合計		
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
40													
41													
42													
43													
44													
45													
小計												※	
小計	評定5の数											a	a×5
	評定4の数											b	b×4
	評定3の数											c	c×3
	評定2の数											d	d×2
	評定1の数											e	e×1
	計												

※欄の数字は一致すること。

教科		評定					計
		5	4	3	2	1	
国 語	人数 (人)						
	割合 (%)						100
社 会	人数 (人)						
	割合 (%)						100
数 学	人数 (人)						
	割合 (%)						100
理 科	人数 (人)						
	割合 (%)						100
音 楽	人数 (人)						
	割合 (%)						100
美 術	人数 (人)						
	割合 (%)						100
保 健 体 育	人数 (人)						
	割合 (%)						100
技 術 ・ 家 庭	人数 (人)						
	割合 (%)						100
(英語) 外 国 語	人数 (人)						
	割合 (%)						100

I 評定一覧表（様式6 A）作成上の留意点について

- 1 A4判で作成すること。
- 2 氏名欄は、北九州市立高等学校提出分については本高等学校を志願するものについて記入し、北九州市教育委員会提出分には卒業予定者全員について記入すること。
- 3 評定欄は、学年全員についてその評定を記入すること。学級ごと別紙となる場合等2枚以上になるときは各紙ごとの小計を記入し、最後の用紙には学年全員の合計欄を作り記入すること。
- 4 評定は、目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）による評定を記入すること。
- 5 ※欄の数は一致するものであること。
- 6 原則として、特別支援学級に在籍する生徒についても評定一覧表に記入し、学年全員の合計に加えること。また、特別支援学級に在籍する生徒で特別支援学校（知的障がい）に準ずる教育課程を編成している場合は、その旨備考欄に記入すること。
- 7 普通学級に在籍する生徒と特別支援学級に在籍する生徒の評定一覧表を別葉（普通学級に係るものを1組、特別支援学級に係るものを1組）として作成しても差し支えないが、この場合においては、評定分布表（様式6 B）についてもそれぞれに別葉として作成すること。
なお、受検者がいない特別支援学級の評定一覧表及び評定分布表については、必ずしも提出の必要はないが、作成しておくことが望ましいものであること。
- 8 義務教育学校にあつては、様式中の第3学年を第9学年と読み替えて記入すること。

II 評定分布表（様式6 B）作成上の留意点について

- 1 A4判で作成すること。
- 2 人数欄は、評定一覧表（様式6 A）におけるそれぞれの評定の該当人数を記入すること。
- 3 割合欄は、学年全員に対する各評定ごとの割合を百分率で小数第1位まで記入する（小数第2位を四捨五入する）こと。
- 4 3の結果、割合の合計が100%にならなかった場合は、該当教科の各評定の中で一番大きい割合を占める評定の数値を調整し、割合の合計を100%にすること。また、一番大きい割合を占める評定の数値が複数ある場合は、その数値のいずれかを調整すること。
- 5 義務教育学校にあつては、様式中の第3学年を第9学年と読み替えて記入すること。

III 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取扱いについて

令和4年度北九州市立高等学校入学者選抜における過年度中学校卒業者の評定一覧表の取扱いについては、以下のとおりとするので、留意すること。なお、提出の際は、様式中「(見込み)」を二重線で消すこと。

- 1 令和3年3月卒業者・・・卒業見込みで作成した評定一覧表を提出すること。
- 2 令和2年3月卒業者・・・卒業見込みで作成した評定一覧表を提出すること。
- 3 平成31年3月卒業者・・・卒業見込みで作成した評定一覧表を提出すること。
- 4 平成30年3月卒業者・・・学級評定一覧表又は卒業見込みで作成した評定一覧表を提出すること。

- 5 平成29年3月卒業者・・・学級評定一覧表又は卒業見込みで作成した評定一覧表を提出すること。
- 6 平成28年3月以前の卒業者・・・提出の必要なし。
※ 学級評定一覧表・・・志願者が在籍した学級の生徒全員分の評定を指導要録から要項様式(様式6A)に転記したもの。

IV 過年度中学校卒業者に係る評定分布表の取扱いについて

過年度中学校卒業者の評定分布表の取扱いについては、以下のとおりとするので、留意すること。
なお、提出の際は、様式中「(見込み)」を二重線で消すこと。

- 1 平成29年3月以降の卒業者・・・評定一覧表を基に作成した評定分布表を提出すること。
- 2 平成28年3月以前の卒業者・・・提出の必要なし。

受 検 票

学 科	科
※ 受 検 番 号	第 号
ふりがな	
氏 名	
生 年 月 日	平成 年 月 日生
出 身 学 校 名	学 校
<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> 北九州市立高等学校長 公 印	

- (注) 1. ※印欄は高等学校で記入する。
 2. この受検票の交付をもって、入学選考料の領収証交付に代える。

(様式推 1 A)

受付年月日	受付番号	受付者印
<h2>推 薦 入 学 願 書</h2>		
北九州市立高等学校長 殿		
令和 4 年 月 日		
本人氏名 _____		
保護者氏名 _____		
貴校 科 に入学を志願します。		
区 分	本 人	保 護 者
ふりがな		
氏 名		
生 年 月 日	平成 年 月 日生	
現 住 所	(〒 -)	(〒 -)
出身 学 校 名	学 校	本人との関係
備 考		「本人との関係」欄には、例えば父、母、叔父等と記入すること。

(切 取 り)

受 検 者 心 得

1 この受検票は作文・面接当日必ず携
行すること。

2 作文・面接期日及び集合時刻・場所

令和 4 年 2 月 7 日 (月)

午前 8 時 40 分点呼

北九州市立高等学校

(切 取 り)

受 検 票

学 科					
※ 受検番号	第	号			
ふりがな					
氏 名					
生年月日	昭 和	年	月	日	生 日
出 身 学 校 名	平 成				
<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p>北九州市立高等学校長 印</p>					

(注) 1. ※印欄は高等学校で記入する。
 2. この受検票の交付をもって、入学選考料の領収証交付に代える。

切 取 り

(様式補1 A)		受付年月日	受付番号	受付者印
<h2 style="margin: 0;">補 充 募 集 入 学 願 書</h2> <p style="margin: 5px 0;">北九州市立高等学校長 殿</p> <p style="margin: 5px 0;">令和 4 年 月 日</p> <p style="margin: 5px 0;">本人氏名 _____</p> <p style="margin: 5px 0;">保護者氏名 _____</p> <p style="margin: 10px 0;">貴校に入学を志願します。</p>				
区 分	本 人	保 護 者		
ふりがな				
氏 名				
生年月日	昭 和	年	月	日
現 住 所	平 成			
出身学校名	学 校	本人との関係		
志 望 学 科				
初回受検校 (志願課程)	立	高等学校 (課程)		
初回受検校での学科 (コース), 系・受検番号	(科 コース)	第	号	「本人との関係」欄には、例えば父, 母, 叔父等と記入すること。

受 検 者 心 得

1 この受検票は面接・作文 当日
必ず携行すること。

2 面接・作文 期日及び集合時刻・場所

令和 4 年 3 月 23 日 (水)

8 時 40 分点呼

北九州市立高等学校

切
取
り

(様式7A)

特 別 措 置 申 請 書

令和 年 月 日

北九州市立高等学校長 殿

_____ 学校長 印

貴校志願予定の本校生徒（卒業生） の障がい等の状況は下記のとおりですので、
受検（英語リスニングテストを除く。）に当たって、適切な措置をとられるようお願いいたします。

障がい等の 種類・程度	
学校における生活 状況及び指導上の 配慮事項	
受検上必要と考え られる特別な配慮 事項	

- (注) 1 この特別措置の対象となる者は、身体の障がいや発達障がい等のため通常の方法により受検することが困難と認められる者とする。
- 2 障がい等の種類・程度の欄には、医師の診断結果に基づいて具体的に記入すること。
- 3 申請書の記載内容のみでは障がいの程度を十分に把握できない場合には、医師の診断書等を添付すること。

(様式7B)

英語リスニングテスト特別措置申請書

令和 年 月 日

北九州市立高等学校長 殿

_____ 学校長 印

貴校志願予定の本校生徒（卒業生） _____ の聴覚障がいの状況は下記のとおりですので、英語リスニングテストについて、適切な措置をとられるようお願いいたします。

障がいの種類・程度	
学校における生活状況及び指導上の配慮事項	
備考	

- (注) 1 この特別措置の対象となる者は、原則として両耳の聴力レベルが30デシベル以上の者とする。
ただし、補聴器の使用により、英語リスニングテストの通常受検が可能となる者を除く。
- 2 障がいの種類・程度の欄には、聴力レベルを具体的に記入すること。
- 3 備考欄には、補聴器を使用し、かつ、別室において音量増大等の措置を講じた場合に、聞き取りが可能かどうかについての所見を記入すること。
- 4 申請書の記載内容のみでは障がいの程度を十分に把握できない場合には、医師の診断書等を添付すること。

(別紙様式1)

帰国生徒等特例措置適用申請書

令和 年 月 日

北九州市立高等学校長 殿

本人氏名 (自署)

(平成 年 月 日生)

保護者氏名 (自署)

下記の事項が事実と相違ないことを誓約しますので、令和4年度入学者選抜において、帰国生徒等の特例措置を適用されるよう申請します。

特例措置の区分	一般学力検査			
対象者区分	ア 帰国孤児子女又は外国人生徒等 イ その他 (該当に○印)			
海外在留地名				
在留期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
学校教育歴	学校名	所在地 (国名・都市名)	在学学年	在学期間
その他	(特に参考となることがあれば記入してください。)			
上記のとおり相違ないことを証明します。				
令和4年 月 日				
_____ 学校長 印				

(注) 日本に出身学校がない場合は、学校長の証明は必要ではないが、他の証明資料等があれば、提示すること。

(別紙様式2)

帰国生徒等特例措置適用証明書

志願者氏名 _____

受検番号 _____

上記の者は、令和4年度入学者選抜において、帰国生徒等の特例措置を受ける者であることを証明します。

令和4年 月 日

北九州市立高等学校長 印



(注) この証明書は、学力検査当日、必ず検査場に持って行き、受検票と一緒に検査監督者に見せること。

(別紙様式)

北九州市立高等学校入学者選抜学力検査個人情報開示請求書

北九州市教育委員会 様

令和 年 月 日

令和4年度北九州市立高等学校入学者選抜学力検査に係る個人情報の開示を請求します。

ふりがな	
氏名	
受検番号	
住所	〒 ー
電話番号	
志望学科 (いずれかに○を記入)	1 普通科 2 情報ビジネス科
開示希望事項 (いずれかに○を記入)	1 教科別得点と総合得点の両方 2 教科別得点のみ 3 総合得点のみ

○ 確認のため、必ず次の書類を提示してください。

受検者本人	次のいずれかの提示が必要です。 1 受検票及び生徒証明書等 2 健康保険の被保険者証又は旅券 3 その他本人確認ができる書類 ()
法定代理人	次の1, 2両方の提示が必要です。 1 受検者本人との関係を証明する書類 ※ 戸籍個人事項証明書/戸籍抄本, その他関係を証明する書類 () 2 法定代理人本人であることを証明する書類 ※ 運転免許証, 健康保険の被保険者証, 旅券, その他本人確認ができる書類 ()

処理欄 (記入しない)				
係員	担当	事務長	校長	備考

受付欄

令和4年度北九州市立高等学校入学者選抜要項

令和3年11月15日発行

問い合わせ先

北九州市教育委員会 学校教育部 学校経営・教育指導課

〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号

電話番号 093-582-2368

(入試事務担当)

北九州市立高等学校

〒804-0062 北九州市戸畑区浅生一丁目10番1号

電話番号 093-881-5440

(入試事務担当)